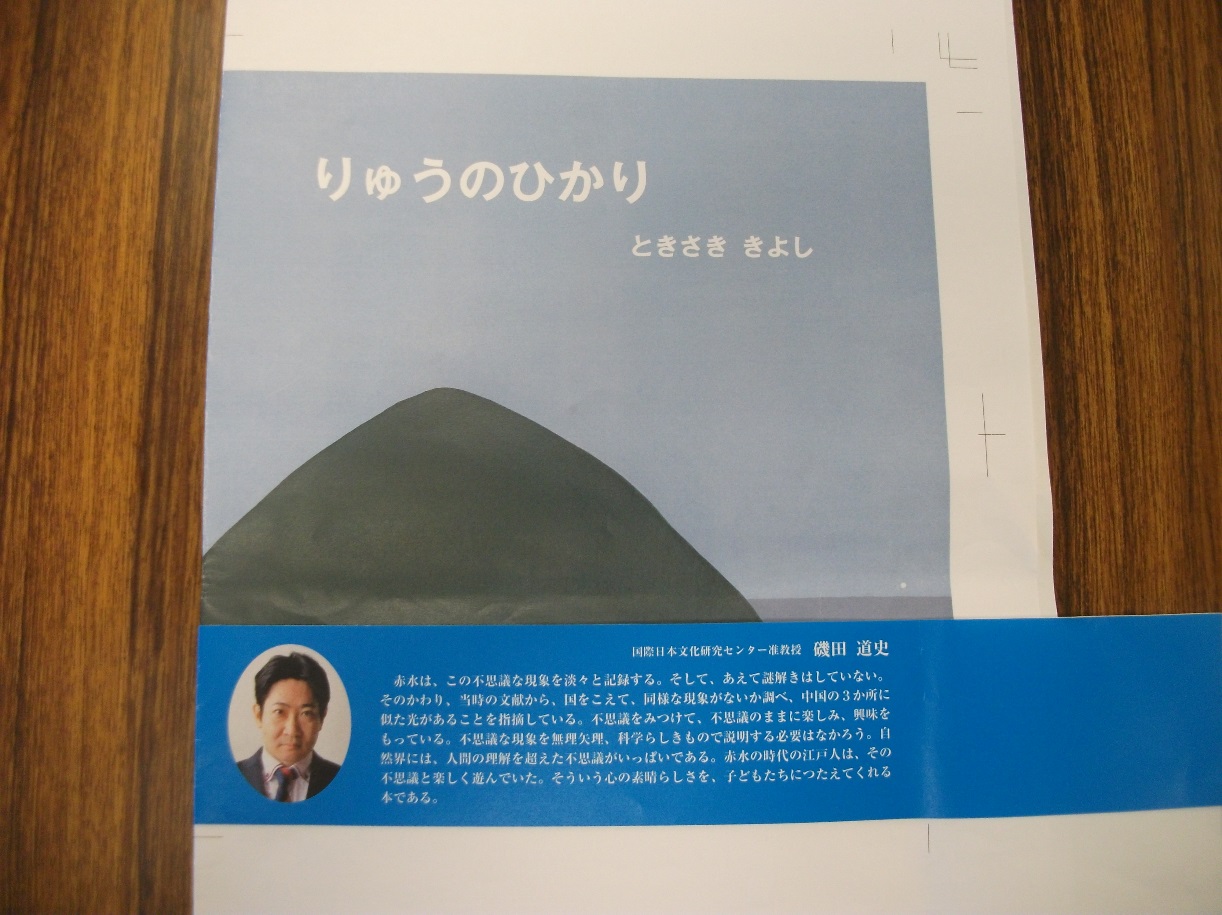
**長久保赤水資料６９３点が国の重要文化財に指定！！（3月１9日）**このため、長久保赤水資料が上野公園内の東京国立博物館で、文化庁主催の特集「令和２年新指定国宝・国の重要文化財」展で公開されます。**４月２１日（火）～５月６日（水）**

**●絵本「りゅうのひかり」を発行【国の重要文化財指定記念誌】…千円で好評販売中！**

**Ａ４版変形、８０ページ、４，０００部印刷　【磯田道史先生も推薦　絵本「りゅうのひかり」】**

**『赤水図』の四倉沖に書かれている「閼伽井嶽の龍燈」の謎に迫る**

長久保赤水顕彰会では、長久保赤水資料の国の重要文化財指定記念誌として、絵本「りゅうのひかり」（絵・時崎清氏、文・夏井芳徳氏）を発行しました。江戸時代に活躍した学者、長久保赤水（１７１７～１８０１）は、『赤水図』と呼ばれる『改正日本輿地路程全図』（第２版）の中に、福島県いわき市の閼伽井嶽の龍燈について記述を残しています。また、『東北南部から近畿図』の地図や紀行文の『東奥紀行』、さらには、『赤水文章』の中にも、その記述を残しています。これらをもとに、赤水会会員の時崎清氏に「りゅうのひかり」の絵を描いていただきました。また、医療創生大学客員教授の夏井芳徳氏に「長久保赤水と閼伽井嶽の龍燈」の原稿を、さらに、国際日本文化センター准教授の磯田道史氏にも帯原稿とご挨拶文を書いていただきました。長久保赤水は、なぜ、『改正日本輿地路程全図』などに閼伽井嶽の龍燈についての記述を残したでしょうか。その謎に迫ります。

**発行年月日**：令和２年３月３０日　　**制作発行者**：長久保赤水顕彰会　　**問合せ**：長久保赤水顕

彰会事務局　〒318-0103　茨城県高萩市大能３４１　佐川春久　**携帯**：０９０－１８４６－６８４９

**Ｅメール**：[haruhisasagawa@yahoo.co.jp](about:blank)　[**http**://nagakubosekisui.org/](about:blank)　　**定価**1,000円＋税　　**・「ひよっこ」の次は大河ドラマ「長久保赤水**

**伝」を実現しよう！！　・学ぼう赤水を　教科書に載せて　広げよう世界へ！！　・長久保赤水記念館（赤水旧宅・前新屋）の開館を目指そう！**

**●国の重要文化財指定記念として『赤水図』のレプリカ（再版・両面刷り）を発行します**

また、長久保赤水顕彰会では、国の重要文化財指定記念として『赤水図』のレプリカ（再版・両面刷り）を令和２年１１月６日（赤水先生の誕生日）に発行する予定です。表面には、【赤水図で吉田松陰の「東北遊日記」の足跡を辿ろう！！】裏面には、【赤水図の変遷】の比較検討が出来るようにＡ３版の大きさで、原図、初版、第２版、第３版、第４版、第５版を掲載します。

**なお、現在、クラウドファンディング会社の「ＣＡＭＰＦＩＲＥ（キャンプファイヤー）」にお願いして、インターネット上でも寄付金を募集しています。詳しくは、インターネット上でＣＡＭＰＦＩＲＥ（キャンプファイヤー）の寄付金募集の『赤水図』の画面をご検索ください。**

**３月4日現在、赤水会会員は、全国で５１１名ですが、国の重要文化財指定記念を機に、会員１，０００名を目指しています。このため、現在、赤水会の会員募集と寄付金募集を行っています。ぜひ、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。**